

2026年7月27日

各位

株式会社イオレ

イオレが推進するPhysicalAIソリューション「Physical AI Agents Network」、アジア最大級のWeb3カンファレンス「WebX 2026」にて、初の実地運用を実施

非接触ゲーム体験を通じたリード獲得導線を検証、体験参加者の約16%が申込
今後は注視計測の精度実証へ

株式会社イオレ（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：瀧野 諭吾、以下イオレ）は、2026年7月13日・14日にザ・プリンス パークタワー東京で開催されたアジア最大級のWeb3カンファレンス「WebX 2026」の自社ブースにおいて、「Physical AI Agents Network」の初の実地運用（フィールドトライアル）を実施しました。2日間の会期を通じて2台のサイネージを連続稼働させ、非接触ゲーム体験による集客からサービス申込までの導線を検証しました。



■ 実施の背景

AIの活用は、クラウド上の対話やドキュメント処理にとどまらず、店舗・住宅・イベント会場・屋外といった実空間へと広がりつつあります。人の動きや言葉にその場で応答し、画面・音声・機

器の制御までを現場で完結させる「Physical AI」は、大規模AIサービスが届きにくい現場・エッジ領域における次の成長領域として期待されています。

イオレは、この領域に向けて、まちのあらゆる現場にAI Agentを配信・管理する基盤技術「Physical AI Agents Network」の開発を進めています。エッジ端末上のAI Agentが来場者の反応をその場で検知・理解し、映像を外部に送信することなくプライバシーに配慮した形でデータ化するとともに、状況に応じてコンテンツを動的に切り替えることができます。

今回のWebX 2026への出展は、この基盤を組み込んだ最初の完成品ソリューションであるAIサイネージを用い、展示会という実環境において「クラウドからの配信・運用が安定して回るか」「AI Agentによる体験がリード獲得につながるか」を確認する初の実地検証として実施したものです。

■ 実施概要

日程: 2026年7月13日(月)～14日(火)※12日に事前テスト稼働

会場: ザ・プリンス パークタワー東京「WebX 2026」イオレブース内

構成: エッジAIサイネージ2台(体験・コンテンツ配信用)

内容: カメラを用いた非接触ゲーム体験、来場者の反応に応じたコンテンツ配信、体験後のサービス申込導線

■ 実施結果

2日間の会期を通じて「Physical AI Agents Network」を搭載したサイネージ2台の連続稼働を完遂し、遠隔からのコンテンツ配信・差し替え運用を実環境で確認しました。

体験・送客面では、非接触ゲームの実プレイ回数は70回、うちサイネージ体験を起点としたサービス申込は11件となり、体験参加者の約16%が申込に至りました。また、会期中には来場者の反応を踏まえ、視線に反応して体験を開始する「視線起動アトラクト」機能を現地で実装・投入するなど、実環境ならではの高速な改善サイクルを実践しました。

ピーク時にはサイネージ前に同時18人の来場者を検出し、体験1回あたり平均6.6人が周囲で観覧するなど、体験型コンテンツによる集客効果を確認しました。また、サイネージに搭載したカメラによるシステム計測では、会期中の人物検知はのべ約15万回、そのうち顔の追跡(検出し個別のIDを割り当てた)回数は8,300回、画面方向への視線検知はのべ約2,100回を記録しました。

※申込件数はサイネージ体験を起点としたものに限定して集計。検出人数はカメラに映った人数の実測値であり、視聴者数を示すものではありません。

※システム計測値はいずれも短時間間隔の再識別に基づくのべ値であり、同一人物が複数回計上されるため、視聴者の実人数を示すものではありません。

※実人数ベースの注視計測は、次期PoCにて精度検証を行う予定です。

■ プライバシーへの配慮

本トライアルでは、カメラ映像はすべて端末内で処理し、映像・画像の保存および外部送信は行っておりません。取得データは個人を特定できない統計情報のみです。

■ 今後の展開

今回のトライアルで、実環境での配信・運用基盤と体験型コンテンツによる送客の手応えを確認しました。次のステップとして、本サービスの中核である「注視計測」（画面を実際に見た人数・時間の実測）を進化させるべく、計測対象領域を厳密に定義した検証環境での精度実証に取り組めます。

イオレは今後、計測精度を人手による正解データと突合して検証する次期PoC（概念実証）を実施予定です。また、商業施設・イベント・小売店舗等で「Physical AI Agents Network」の導入・実証にご関心のある企業様を募集しています。イオレはサイネージ以外のハードウェアにも対応しており、パートナー企業様と共に実証を迅速に開始できる体制を整えています。

▼パートナー・導入に関するお問い合わせ

sales_physicalai@eole.co.jp

■ 「Physical AI Agents Network」とは

イオレが開発を進める「Physical AI Agents Network」は、店舗・住宅・イベント会場・屋外など、街のあらゆる現場にAI Agentを配信・管理する基盤技術です。カメラやセンサーを備えたエッジ端末上でAI Agentが動作し、人の動きや言葉をその場で検知・理解し、画面表示や音声応答、LED・空調などの機器制御までを端末内で完結させます。処理のほとんどが現場のエッジ端末で完結し、映像等のデータを外部へ送信しないため、プライバシーに配慮したリアルタイム応答を実現でき、重い処理のみをサーバが担う構成としています。

さらに、クラウド配信基盤により、ジェスチャーや自然言語で機器を操作する「非接触フィードバック」を含む多様なコンテンツを一元管理し、端末ごとの個別セットアップなしに複数の現場へ配信・更新できることが特長です。

「AIサイネージ」は、この配信基盤を組み込んだ完成品ソリューションの一つであり、視聴・接近の実測による掲出効果の可視化と、来場者の状況に応じたコンテンツの動的な出し分けを実現する広告媒体です。今後は同一の基盤上で、現場データ活用や非接触フィードバックといった顧客別カスタマイズにも対応し、サイネージにとどまらない多様な現場向けPhysical AIサービスへの展開を予定しています。

触れずに遊べる「体験型AIサイネージ」の仕組み



会社名	株式会社イオレ
本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル 4F
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 瀧野 諭吾
設立	2001年4月25日
資本金	27億6,295万円 ※2026年3月31日時点
従業員数	83名 ※2026年3月31日時点
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）
事業内容	・ AIデータセンター事業 - GPUサーバ販売 - AIデータセンター開発支援・投資 ・ AIUI事業 - HR Tech - Ad Tech - 次世代AIメディア - など ・ 暗号資産金融事業 - 暗号資産の保有、運用、決済サービス等の金融基盤提供
URL	https://www.eole.co.jp/

本件に関するお問合せ

株式会社イオレ Tel: 050-5799-9400 Mail: press@eole.co.jp

他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。